町の防災対策は

須藤　正人 議員

質問 昨年10月大島、今年8月の広島の豪雨災害では特別警戒警報が発令されているにもかかわらず避難勧告が遅れ多くの犠牲者が出る大災害となった。

大雨は一刻の猶予もならない。第一、第二警戒マニュアルをもっと厳しいものにしては。

①避難勧告を早く出す、雨が降ってからでは遅い。厳しい体制つくりは。

②警戒区域、特別警戒区域内の住民への周知は。

③里山に県による堰堤が築かれている。場所によっては堰堤を上まで土砂が堆積している。県にさ上げの要請をしたことがあるか。

④秋田沖に大地震が起きた時、海光苑をどう守るのか。

答弁 ①現在、町の地域防災計画を見直し中であり、更に分かりやすく判断しやすい基準に変更したい。

②説明会を行ってから指定しているので、該当する地域の方々は承知している。

③今までかさ上げや土砂等の浚渫の要望を行ったことはない。県から「閉塞堰堤がある場合は要望があれば調査を検討する」と回答を受けている。

④今の状況ではいち早く避難することが人命を守る一番の対策になると考える。

大津波が発生した場合、施設職員が入所者を車に乗せ、高台である白瀑神社上の道路か本館への避難を考えている。

海に間近の特養海光苑

今後、海光苑には津波避難訓練の実施を働きかけていく。

再質問 どんな避難訓練をやるのか、どういうマニュアルで避難するのか。今後の対応は。

答弁 海光苑も松波苑も、津波に備えた訓練は今まで一切やっていなかった。町も一緒になって考え、まずそこから考えていきたい。

再々質問 早急に問題の解決をしないと入所者がゆっくり老後を暮せないのでは。

答弁 指摘を受け、様々な角度から検討したい。

津波を想定して高台へ避難訓練（中浜地区）

大沢入口のＴ字路 拡幅整備の考えは

水木　壽保 議員

質問 大沢大信田線の大沢入口はＴ字路の見通しが悪く、危険が多い。大沢自治会では平成20年度から町にＴ字路の拡幅を要望し、22年度に歩道拡幅の工事が終了した。以前よりは良くなったが今も住民から事故になりそうになったという声がある。最近は林道工事や山林の収穫間伐が行われ大型車が多く、今後林業事業が増えるためますます大型車両が多くなると予想される。28年度からはスクールバスが運行されるので、今後拡幅工事を行い危険がなくなるよう拡幅の考えは。

答弁 Ｔ字路の見通しは、県道振替前に県で施工した県道拡幅改良事業により、幾分かは解消されたが、交差点の両側の角度が直角であることや畑谷方向のブロック塀が障害となっていることから、まだ改良が必要だ。今後は、交差点改良事業として国の認可が受けられるか、県と協議をしたい。

認可されても国の予算配分が厳しく、実施年度を検討していく必要がある。一番大切なのは用地等の協力が得られることなので、地域の皆様の理解と協力をお願いしたい。

再質問 地権者の了承は得られている。これからスクールバス等も頻繁に走る。Ｔ字路は坂道の途中にある。冬期間の危険を回避する対策は。

答弁 地権者も協力するのであれば、直接交渉して早めに実現できるように努力したい。

塙大信田線のバイパスについて

質問 去年は大雨、今年は1月18日に塙集落で火災があり、一時的に大信田集落が孤立し、幸いに病人や救急要請も無かったが、集落には一人暮らし世帯が5世帯、災害時要支援世帯が4世帯ある。今後生命に緊急を要するとき、一時的な孤立により救急車もいけないこともありうるため、バイパスは必要と考える。バイパス整備計画について進捗状況は。

答弁 塙橋から塙・大信田間の道路へ繋ぐルートで着手しようと用地を調査したところ、相続の関係で所有権移転登記が不可能なことが判明し、断念。その後の代替案として、大槻野線と塙・大信田間を繋ぐルートを模索したが、予定ルートにあたる用地は、地籍調査においても筆界（ひっかい）未定地域となっているため、それを整理して用地を取得することができるか検討中で、用地取得までには相当時間を要するものと思っている。

孤立したという事態もあり、その解消に向けてできるだけ早期に完成するように最大限の努力をする。

大沢入口交差点